【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2000-324449(P2000-324449A)
【公開日】平成12年11月24日(2000.11.24)
【出願番号】特願平11-133935
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/92　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/92　Ｈ
Ｇ１１Ｂ　20/10　３１１

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月27日(2006.4.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　入力画像信号を可変長符号化する符号化手段と、
上記符号化された画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、
上記入力画像信号によって記録レートが異なる符号化において記録レートを制限する第１のモードと、上記入力画像信号の単位画像枚数に応じて一定の記録レートに符号化を行う第２のモードとのいずれかのモードを上記記録媒体の残量に応じて選択する選択手段と、
上記符号化手段及び上記記録手段を上記選択されたモードで動作するように制御する制御手段と、
を設けたことを特徴とする画像記録装置。
【請求項２】　上記選択手段は、上記記録媒体の残量が減少するにつれて、上記第１、第２のモードの順に選択することを特徴とする請求項１記載の画像記録装置。
【請求項３】　上記符号化手段は、上記入力画像信号を直交変換及び量子化した後、可変長符号化することを特徴とする請求項１記載の画像記録装置。
【請求項４】　上記記録レートの制御は、量子化ステップを変化させて行うことを特徴とする請求項３記載の画像記録装置。
【請求項５】　上記入力画像信号は、撮像手段で撮像した動画像信号であることを特徴とする請求項１記載の画像記録装置。
【請求項６】　上記第１、第２のモードのうち任意のモードをマニュアル指示する指示手段を更に備え、
上記選択手段は上記指示手段の指示に応じてモードを選択することを特徴とする請求項１記載の画像記録装置。
【請求項７】　上記記録媒体の記録可能時間に係る情報を表示する表示手段を更に備えたことを特徴とする請求項１記載の画像記録装置。
【請求項８】　上記表示手段は上記入力画像信号に係る画像も表示することを特徴とする請求項７記載の画像記録装置。
【請求項９】　上記表示手段は上記第１、第２のいずれのモードにおいても上記情報を表示することを特徴とする請求項７記載の画像記録装置。
【請求項１０】　入力画像信号を可変長符号化して記録媒体に記録する画像記録装置に

おける画像記録方法であって、
上記入力画像信号によって記録レートが異なる符号化において記録レートを制限する第１のモードと、上記入力画像信号の単位画像枚数に応じて一定の記録レートに符号化を行う第２のモードとのいずれかのモードを上記記録媒体の残量に応じて選択することを特徴とする画像記録方法。
【請求項１１】　コンピュータに、
入力画像信号によって記録レートが異なる符号化において記録レートを制限する第１のモードと、上記入力画像信号の単位画像枚数に応じて一定の記録レートに符号化を行う第２のモードとのいずれかのモードを記録媒体の残量に応じて選択する処理と、
上記選択されたモードに応じて上記入力画像信号を可変長符号化する処理と、
上記符号化された画像信号を上記選択されたモードに応じて上記記録媒体に記録する処理と、
を実行させるためのプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
【課題を解決するための手段】
そこで、このような問題を解決するため、本発明は、入力画像信号を可変長符号化する符号化手段と、上記符号化された画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、上記入力画像信号によって記録レートが異なる符号化において記録レートを制限する第１のモードと、上記入力画像信号の単位画像枚数に応じて一定の記録レートに符号化を行う第２のモードとのいずれかのモードを上記記録媒体の残量に応じて選択する選択手段と、上記符号化手段及び上記記録手段を上記選択されたモードで動作するように制御する制御手段と、を設けたことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
また、本発明は、入力画像信号を可変長符号化して記録媒体に記録する画像記録装置における画像記録方法であって、上記入力画像信号によって記録レートが異なる符号化において記録レートを制限する第１のモードと、上記入力画像信号の単位画像枚数に応じて一定の記録レートに符号化を行う第２のモードとのいずれかのモードを上記記録媒体の残量に応じて選択することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、本発明は、コンピュータに、入力画像信号によって記録レートが異なる符号化において記録レートを制限する第１のモードと、上記入力画像信号の単位画像枚数に応じて一定の記録レートに符号化を行う第２のモードとのいずれかのモードを記録媒体の残量に応じて選択する処理と、上記選択されたモードに応じて上記入力画像信号を可変長符号化する処理と、上記符号化された画像信号を上記選択されたモードに応じて上記記録媒体に記録する処理と、を実行させるためのプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な

記録媒体とすることを特徴とする。